

—夢に向かって挑戦する坪井っ子の育成を目指して—

児童が夢や希望をもち、これからの社会が予測困難な時代になっても自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、たくましく生きていくために、学習指導要領の趣旨を踏まえ質の高い教育を行う。

また、教育は教職員・保護者・地域の協力、そしてお互いの信頼関係の上に成り立つものである。

「すべては児童のために」教職員も保護者も地域も一体となり、「わたしたちの坪井小学校」に誇りを持ち、児童も教職員も生き生きと活力に満ちた学校づくりに取り組む。

学校教育目標

えがお・げんき・めあて

えがお

- ◎笑顔で過ごせる温かい人間関係
  - ・豊かな心を育て、お互いに認め合い、学び合う学級経営に努める。
  - ・児童一人一人が達成感を味わうことができるように取り組む。
- ◎気持ちのよい挨拶
  - ・「気持ちのよいあいさつをしよう」を年間の生活目標とし意識化を図る。
  - ・児童会による挨拶運動の実施。
- ◎生徒指導の4つの機能を生かした、わかる授業の充実
  - ・自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全安心な風土の醸成を基盤に、わかる授業の展開。
- ◎道徳教育の充実
  - ・学校教育活動全体で豊かな心を育てる。
  - ・特別の教科道徳の授業の充実を図る。(授業時数の確保、保護者への授業公開、授業研究会の実施)
- ◎いじめの未然防止と早期発見
  - ・いじめを許さない、学校、学級づくりに努める。
  - ・学校いじめ防止基本方針に則した対応をする。
- ◎特別支援教育の充実
  - ・困り感のある児童へのきめ細かな合理的配慮を行う。
  - ・ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりに努める。
- ◎清掃活動の充実
  - ・進んで学校をきれいにしようとする気持ちを育て学校をきれいにする。

げんき

- ◎元気で健康的な体づくりの推進
  - ・教科体育の充実を図り、運動好きな児童の育成。  
(系統性を考慮した体育指導の工夫改善)
  - ・外遊びの奨励。
  - ・新体力テストの分析と活用。
- ◎健康教育の推進
- ◎食育の推進
  - ・食育、給食指導を通して健康的な心と身体を育成する。
- ◎学校保健の推進
  - ・保健教育と保健管理の充実を図る。
- ◎安全教育の推進
- ◎意義のある安全指導
  - ・安全な学校生活、各種避難訓練
  - ・保護者への啓発、登下校の仕方、放課後、休日の過ごし方等。
  - ・食物アレルギーを持つ児童へ適切な対応をする。

めあて

- ◎めあてをもって行動する児童の育成
  - ・年間を通して課題をもって取り組む姿勢を育てる。
- ◎的確なめあてをもつために基礎的基本的な知識・技能の確実な習得
  - ・学習規律の徹底を図る。  
(学ぶ姿勢の定着、話を聞く、発表する時の態度等、全校で統一した指導)
  - ・個に応じた指導を図る。
- ◎授業力の向上
  - ・学習のめあてが明確な課題解決型の授業を展開するように努める。
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善(校内研究等の充実)
- ◎ICT機器の効果的な活用と情報活用能力の育成(校内研究等の充実)
- ◎体験活動の充実
  - ・体験的な学習活動の充実を図る。
- ◎読書活動の充実
  - ・朝読書の推進に努める。
  - ・図書室の積極的な活用を図る。
- ◎学習習慣の育成

信頼される学校づくり

- ◎安全・安心な学校づくりの推進
- ◎コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の活用
- ◎自治会、スクールガードとの連携・地域人材の活用
- ◎学校、学年だより、ホームページ等の情報発信と教育活動の公開
- ◎個人面談、教育相談、スクールカウンセラーの効果的な活用
- ◎外部関係機関(教育支援室、家庭児童相談室等)との連携
- ◎職員の危機管理意識の向上(「最悪を想定し、慎重に、速やかに、誠意をもって、組織で対応する」ことに努める。)
- ◎不祥事の根絶(教職員研修、モラルアップ委員会の充実)